

大学横断的かつ競技横断的統括組織設立準備委員会の参加募集について

平成 30 年 3 月 26 日

ス ポ ー ツ 庁

1 概要

平成 28 年 4 月に「大学スポーツの振興に関する検討会議」を設置し、平成 29 年 3 月に同会議の最終とりまとめを策定し、平成 30 年度中の大学横断的かつ競技横断的統括組織（仮称）（以下「日本版 NCAA」といいます。）の創設を目指すこととされました。このため、同年 9 月に「日本版 NCAA 創設に係る学産官連携協議会」を設置し、日本版 NCAA の具体的な制度設計について、安全安心、学業充実、マネジメントの 3 つのワーキング・グループにて議論を行いました。

そして、今般、これまでの議論を踏まえ、大学及び学生競技団体（又は学生スポーツを担当する中央競技団体）が中心となり、来年度より大学横断的かつ競技横断的統括組織設立準備委員会（以下「委員会」といいます。）を設置する予定です。委員会では、これまでの議論を踏まえ、より具体的に設立に向けた準備を進めていき、委員会を母体として、平成 30 年度中に、日本版 NCAA の立ち上げを行う予定です。

つきましては、委員会に参加する団体を募集します。日本の大学スポーツの発展に一役買おうという意欲のある団体のご応募をお待ちしております。

2 委員会内容

① 委員会（親会議）について

委員会では、以下の内容について検討及び実施し、日本版 NCAA の立ち上げを行います。

（検討内容）

- 定款作成及び趣意書の確定、並びに団体の登記
- 事業計画の作成（学業充実や安全安心・医科学、事業・マーケティングの内容を含む）
- 賛助会員等の募集
- 大学横断的かつ競技横断的なプラットフォームの形成に当たり、共有化するべき情報の検討
- 安全対策のガイドライン策定等に当たっての大学スポーツの実態調査

等

※ 委員会は、年 3 回程度の開催を予定しておりますが、開催に当たり、各団体を代表して 1 名御出席をお願いいたします。

② 作業部会について

委員会に諮る素案の検討及び作成等を行うため、委員会とは別に、委員会に参加する団体及び有識者からなる作業部会を設置します。

作業部会のメンバーについては、5 の応募期間のただし書に掲げる期日までに申請のあった団体及び有識者の中から、第 1 回設立準備委員会の際に決定する予定です。なお、作業部会における具体的な作業や議論については、団体の実務責任者の方（スポーツ・アドミニストレーター相当の方を想定）に、担って頂くことを想定しています。

3 応募資格

以下の（１）及び（２）を満たす団体であること。

（１）以下の①又は②の団体であること

① 国立大学、公立大学又は私立大学

② 公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会又は公益財団法人日本障がい者スポーツ協会に加盟又は登録する競技（準加盟又は承認に相当する競技を含む。）の学生競技団体（地域を代表するものは除く。）又は中央競技団体

（２）別紙の設立趣意書（案）の趣旨に賛同し、スポーツ庁及び参加団体と連携及び協働して日本版 NCAA の設立に向けた準備に取り組むことができること

4 応募方法

応募される団体は、期日までに、別添の参加表明書に必要事項を記載の上、以下の提出先に郵送してください。

提出先：（住所）〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

（宛先）スポーツ庁 参事官（地域振興担当）付 企画係

5 応募期間

委員会への参加は、本日から平成 30 年 12 月 28 日（金）まで（当日消印有効）。

ただし、作業部会への参加を希望する場合は、平成 30 年 6 月 30 日（金）までの応募が必要です（当日消印有効）。

6 任命

応募をいただいた団体が応募資格を満たす場合、特段の事由を除き、全て委員会の委員に就任するものとします。

また、作業部会のメンバーは、5 の応募期間のただし書に掲げる期日までに申請のあった団体及び有識者の中から、第一回設立準備委員会の際に決定する予定です。なお、作業部会における具体的な作業や議論については、団体の実務責任者の方（スポーツ・アドミニストレーター相当の方を想定）に、担って頂くことを想定しています。

7 今後のスケジュール

平成 30 年 6 月 30 日 設立準備委員会作業部会の公募の締切

夏頃 第 1 回設立準備委員会の開催（作業部会のメンバーの決定）

秋頃 第 2 回設立準備委員会

平成 30 年 12 月 28 日 設立準備委員会の公募の締切

平成 31 年 春頃 第 3 回設立準備委員会、日本版 NCAA の設立

8 問合せ先

スポーツ庁参事官（地域振興担当）付 企画係

TEL：03-6734-3932

E-mail：stiiki@mext.go.jp

設立趣意書（案）

スポーツと大学は、ともに、学生を大きく成長させ、社会で活躍する人材を育成する力、共生社会や健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる力、さらには、世界と繋がる力を持っている。

そして、学生や指導者、研究者、スポーツ施設等のスポーツ資源を持つ大学はスポーツの多面的な価値を発揮できる絶好の場所である。

スポーツと大学が有機的に連携することにより、スポーツが持つ価値や魅力を最大限発揮し、社会の共通課題の解決や発展により一層大きな役割を果たすことができる。

一方、平成 29 年 3 月に文部科学省が策定した「大学スポーツの振興に関する検討会議」の最終とりまとめにおいて指摘されているように、大学スポーツは、運動部活動の安全性の確保、学生アスリートの学業環境や就職への支援、運動部活動の運営の透明性及びスポーツ医科学等に係る研究者間や分野横断的な連携の不足等様々な課題を抱えている。

また、同年 9 月にスポーツ庁が設置した「日本版 NCAA 創設に係る学産官連携協議会」においては、大学スポーツが多面的な価値を発揮していくに当たって、大学スポーツの基盤の確立として、まずは、安全・安心の分野について事故の予防措置の充実や事件・事故等の関係者の情報共有の仕組みの構築が、学業充実の分野について社会で活躍できる学生アスリートを育成するための一定の学業基準の担保やキャリア形成支援等の取組が必要との議論がなされた。

安全性の不平等はあってはならない。

いずれの学生にも、競技の安全性が平等に保障されなければならない。

スポーツと学業の両立も同様である。

いずれの学生にも、スポーツと学業の両立を達成するために不断の努力をすることができる環境が整えられるべきである。

さらに、大学スポーツの持続的な発展のためには、大学運動部を始めとした学生スポーツ団体が組織のガバナンスを確立し、自らの活動について社会に対する説明責任を果たすとともに、インテグリティやスポーツマンシップを大学スポーツ全体に浸透させていくことも必要である。

言うまでもなく、大学スポーツの主体は大学であり、主役は大学生である。また、大学及び大学生と共に大学スポーツを作り上げてきたのは、各競技団体及び各学生競技団体である。

今後は、大学自らが、スポーツに体系的、総合的に取り組むための担当部署、担当責任者を置いて取組のネットワークの充実強化に取り組むと共に、大学、学生、各競技団体及び各学生競技団体が、その枠を超えて、大学スポーツをさらに発展させるために一致団結することが重要である。

政府も日本版 NCAA（仮称）の平成 30 年度中創設を推進している今こそ、これまで大学スポーツ関係者が一丸となって積み上げてきた議論を土台として、大学スポーツが抱える課題を共同で解決し、大学スポーツをより高い水準に引き上げるとともに、社会の課題解決・発展に貢献するこ

とを目指し、その礎となる大学・競技の垣根を超えた組織を創設する時である。

日本版NCAA（仮称）創設の最大の利点は大学横断的・競技横断的なプラットフォームの提供である。

各大学、各学生、各競技団体、各学生競技団体が単独では解決できない課題であっても、英知を結集し、確固たる決意で事に当たれば、いかなる課題も解決できる。

大学スポーツの大学横断的・競技横断的組織は、次の理念の実現を目指す。

- （1）各種ガイドラインをはじめとした予防措置の充実や事件・事故等の関係者の情報共有の仕組みの構築、医科学分野との連携を通じて大学スポーツを、より安全なスポーツとする。
- （2）キャリア形成支援等を通じて、大学スポーツから社会に貢献できる人材を輩出する。
- （3）地域社会と連携し、地域貢献活動の促進や大会の活性化・魅力向上等を通じて、大学スポーツを学生・卒業生・地域住民から愛される存在とする。

ここに、大学スポーツを変革する意思のある大学及び大学スポーツ関係者が決意し、現下の困難を乗り越え、新しい時代を切り拓くための大学スポーツの大学横断的・競技横断的組織の設立を決意し、本趣意書を記す。

大学横断的かつ競技横断的統括組織設立準備委員会 参加表明書

平成 30 年 3 月 26 日付けで公募されました大学横断的かつ競技横断的統括組織設立準備委員会に参加します。

平成 30 年〇月〇日

団 体 名 :

代表者役職 :

代表者氏名 :

印

実務責任者	所属・役職	
	氏名	
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇
	T E L	
	F A X	
	E-mail	
担当者	所属・役職	
	氏名	
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇
	T E L	
	F A X	
	E-mail	